

令和6年度

学校だより 第9号



希 望



学校教育目標

思いやりのある子ども

自ら学ぶ子ども

健康でたくましい子ども

小山城東小学校長 ○○ ○○

児童代表の言葉

始業式・終業式では毎回代表児童が言葉を述べています。ここでは、高学年児童の言葉の一部をご紹介します。

第2学期 終業式

5年生は2学期のはじめに教室移動があり、ぼくのクラスは6年生と同じ階になりました。6年生の姿を見て、6年生のようになりたいと決めました。そこで、2学期には特に委員会活動と、宿泊学習を頑張ろうと思いました。

計画委員会の活動では、副委員長になって積極的に意見を言うように心がけました。学校 みんなにふわふわ言葉を広めて、もっと楽しい学校生活を送ることができるように、給食の放送でラジオをすることになりました。ふわふわ言葉を使おうと思ってもらえるような内容を考え、放送しました。

11月の臨海自然教室では、活動班の班長になりました。5分前行動をするために、次の活動の時間を確認したり、塩づくりでは役割分担をしたりして、みんなと協力しました。友達と助け合って、楽しい2日間を過ごすことができました。

これらのことから、責任をもつこと、その責任を果たすには協力が不可欠だということを学びました。これから自分がやるべき役割が増えてくると思うので、友達と協力しながら取り組んでいきたいと思います。

3学期は、5年生みんなで力を合わせ、6年生への準備をしていきます。

第3学期 始業式

私たち6年生は「自治的、自発的な行動」を心がけてきました。この言葉に出会ったのは5年生の宿泊学習でした。自治的・自発的な行動とは、クラスで話し合い自分たちでクラスをつくることです。それには「自分たちで考えていく力」が必要で、正直、5年生になってすぐに実践することはとても難しいことでしたが、これまでたくさんの時間をかけて何度も実践したことで、少しずつその力が育ってきました。…【中略】…

…【一部抜粋】…

みなさんは小山城東小の4つの心を言えますか？

4つの心が現れた行動は何だと思いますか？

どんな姿だと思いますか？

…【中略】…

私たち6年生はこの小山城東小学校をよりよくしたいと思っています。これは私たち6年生が過去の卒業生から受け継いできた素晴らしい伝統だと思っています。残り3か月間でこの続いてきた伝統を伝えていきたいです。みなさんも自治的・自発的な行動である「自分たちで考えた行動」をしてみませんか？それぞれの色を付けて、それぞれの表し方で素晴らしい小山城東小にしていきたいと思います！

私たち6年生は残り3か月で卒業します。6年生一人一人が小山城東小の最上級生として、「かっこよさ」を見せますので、これまでにつないできた小山城東小学校のよい伝統をみんなで作っていきましょう！

今年1年間、本校を支え続けてくれていた6年生の後ろ姿を見て、「今度は自分たちが…」という5年生の思いと、限られた残りの時間で伝統をしっかりと引き継いで卒業したいという6年生の思いを、全校児童で確認することができました。



今年も どうぞ よろしくお願ひします。

3学期は0学期



1月8日始業式で、児童に伝えた言葉です。1年間のまとめ・締めくくりとなる3学期を、もう1つの視点からもとらえ、何をどう進めたら良いかについて、各学級で確認してほしいという願ひを含めました。

話の中で、校庭の桜の枝先の様子を紹介しました。冬の間、寒さにじっと耐えながら、春には満開の花を咲かせるための準備がもう始まっていることも伝えました。

「桜が満開になる4月には皆さんも一つ上の学年に進級し、新しい学級での生活が始まります。校庭の桜の木といっしょに、準備を進めていきながら素敵な春を迎えましょう」と結びました。

それぞれに、「有終の美」を飾ってほしいと願っています。

令和7年度より 毎年 学級編制を実施します！！

これまで本校では、お子さんの所属する学級の編制を隔年で実施して参りました。令和7年度より、毎年実施とさせていただきます。

過日行われたPTA役員会や後援会、学校運営協議会等で御相談し、様々な御意見をいただくことができました。

すでに、市内周辺校での先行実施状況も確認し、表のような情報をいただきました。何よりも大切にしたいことは、『学びの主体者であるお子さんが安心して過ごせる教室環境を提供するために、全ての学級が、新学期という同じスタートラインにたって新しい学年のスタートを迎えることができること』と考えております。御理解と御協力をお願い致します。

	メリット	デメリット
児童	・多くの友達とつながる機会が増える ・教師との出会いの機会が倍に増える ・心機一転リセットする機会が増える	・慣れるまで時間がかかる
教職員	・お子さんの可能性を多面・多角的にとらえることができる ・多様なニーズに、チームとしての対応ができる	・毎年学級編制業務をする
保護者	・学校の窓口となる教員数が増える	・出席番号・クラス・担任名など毎年覚えることが増える

ちょっと いいお話

給食週間が始まりました。日頃の感謝の気持ちを手紙で伝えたり、カルタを作成したりしています。

各教室に掲示されたカルタ作品からは、3つの心と感謝する心があふれ出ています。

『残さず 食べよう フードロス』

『ラムサール ふゆみず田んぼ あいしいな』

『ありがとう 感謝の気持ちで いただきます』

こんなお願いもありました。

『ラ～メンを だして ください 給食で』

児童の豊かな感性にほっこりしました。

12/21～1/22まで

100さつ

R6年度 累計

738 ち

